

第6号様式（第5の2関係）

議 事 概 要

会 議 名	令和6年度 第3回屋久島警察署協議会
会 議 日 時	令和7年2月28日（金） 午後1時30分～午後3時00分
会 議 場 所	屋久島警察署 会議室、駐車場
出 席 者	1 署協議会 会長以下 6人 2 署 署長以下 7人

【会議の概要】

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 協議
  - (1) 署長概況説明  
屋久島警察署管内の事件・事故の発生状況（令和6年）  
令和7年鹿児島県警察運営指針・運営重点  
警察活動の状況（令和6年11月～令和7年2月）
  - (2) 諮問・答申
  - (3) 意見・要望
- 4 転出者等挨拶
- 5 白バイ走行見学
- 6 閉会

【諮問・答申】

諮問 施錠習慣の浸透方策

これまで、各種防犯講話等で「施錠をすることが防犯の第一歩で最も有効である。」と広報を続けているが、施錠習慣が浸透していない現状が見受けられる。警察でも継続して各種機会に広報活動を実施していくが、より効果的な広報活動等があれば意見をいただきたい。

答申

- (委員) 防災無線を聞き流している人もいるため、各集落の会合等で警察官が話をする方が効果的である。
- (委員) 集落の会合がある際は、事前に調整して、警察官が話をする時間を設けることができるので、その際は連絡してほしい。

諮問 効果的なリクルーター活動

警察も厳しい採用情勢の中におり、毎年、真に警察官としてふさわしい人材を確保するため、各学校での講話時や地域で行われるキャンペーン参加時に採用募集活動を行っているところではあるが、より効果的な募集活動や同活動を行うにふさわしい地域でのキャンペーンや催し等があれば意見をいただきたい。

答申

- (委員) 小学生や中学生は、警察官を見て憧れる人もいるが、それ以上の年齢になるとキャリアによる不祥事等を目の当たりするなどして、警察への魅力を感じなくなり、警察官を志す人が減ってくると思う。  
キャリア制度も必要かもしれないが、地道に一生懸命、努力をした人が報われ、評価されるようにならないといけない。
- (委員) 子供は交通安全教室等でパトカーが展示されていると、とても喜んでいるため、パトカーや白バイを展示する機会を増やしたり、職場体験等を計画してみてはどうか。
- (委員) 小学生は警察官に憧れを持っているが、高校生は現実を知る年齢になるため、高校生が警察官と直接対話をする機会を増やし、警察官も話しやすい普通の人だと思ってもらえると、志す人も増えるのではないか。
- (委員) 就活をしている人たちに、警察官が警察を目指すことになったきっかけやエピソードを話す機会をつくってみてはどうか。  
また、体力やパソコン、語学等が得意な人にとっては、それらを活かすこと

ができる仕事もあるといったことを教えてはどうか。

**【警察署行政に対する意見・要望等】**

- (委員) 事件・事故の発生状況について説明を受けた際、窃盗事件の発生が多いとのことであったが、発生した窃盗事件の種類はどういうものがあるのか。  
また、空き巣などの被害も島内で発生しているのか。
- (署長) 届出を受けた窃盗事件の中では、万引きが多い状況であり、また、屋外に置いていたものを盗まれるといった事件も発生している。  
島内では昨年中、連続発生するような窃盗事件はなく、また、住宅を対象とする空き巣の被害はなかった。
- (委員) 防犯カメラ映像の提供等に関する締結式を行ったことを説明してもらったが、島内の方が犯罪を犯した場合、島内にとどまるものの、島外の方の場合は空港や港から出ることになり、その際は循環線を動くことになる。  
循環線の中でも迂回路がなく、絶対に通らないといけない場所もあるため、今後はそのような箇所に防犯カメラの設置を検討してみたいか。
- (署長) 設置場所によっては、関係機関と協議が必要な場所もあるため、今後はそれらの実態をみながら、設置を検討していこうと思っている。
- (委員) 以前はシニアカーを持っている人に対して、警察官が各集落で講習会を行っていたが、今はしていないのか。  
していないのであれば、講習会を行ってほしい。
- (交通課長) 現在は、そのような講習会を実施していない。  
シニアカーを持っている人がいるのであれば、講習会の実施を検討していく。

**【警察活動視察等（白バイ走行）】**

交通課長から白バイの性能や特性等について説明を受け、デモ走行を見学した。

備 考